



狭山市教育情報ネットワークで市内の小・中学校などに配置されている1,000台以上のコンピュータを接続し、大量の通信処理や情報管理を行います  
(写真は、テレビ会議システムを利用したネット交流)

## 人を育み文化を創造するまちをめざして

だれもが快適に健康で、生きがい  
に満ちた生活が送れるよう、生涯を  
通じた学習の必要性が高まっていま  
す。このため、生涯学習に関する情報  
の集中化・一元化を図り、インターネ  
ットを用いた生涯学習情報ネットワ  
ークの整備とともに、ケーブルテレ  
ビを活用した生涯学習情報をはじめ  
とする行政情報の放映などについて  
調査・検討し、分かりやすく利用しや  
すい情報提供の充実に努めます。ま  
た、学校週5日制のもと、心身ともに  
健全な成長を目指した学校・家庭・地  
域社会が一体となった家庭教育を支  
援します。

生涯スポーツでは、小・中学校の施  
設をはじめ、公園や河川敷などの空  
間を生かし、子どもから高齢者まで  
がスポーツに親しめる機会と場を積  
極的につくります。

児童・生徒の不登校は、依然として  
深刻な状況です。これらの問題の解  
決には、早期発見と適切な対応が必  
要であるため、地域支援システムづ  
くり推進事業を進めていきます。今  
後も学校と教育センターにおける教  
育相談体制を一層充実させるとも  
に、子ども達の個性を生かし、生きる  
力を育むための研修体制を充実さ

せ、教職員の資質向上  
に取り組みます。

小学校での外国語早  
期教育は、中学校に配  
置している語学指導助  
手を月2回小学校に配  
置し、国際理解教育の  
中で英語活動を進めて  
います。また、夏休みや  
土曜日を利用して外国  
語キャラバン隊による  
外国語活動にも取り組  
みました。これらの成

果を受け、4月には、外国語早期教育  
推進特区」を申請し、小学校に英語活  
動を取り入れる予定です。語学指導  
助手による小学校訪問を充実させる  
一方、語学に堪能な方を指導員とし  
て採用し、教員と市民が一体となっ  
て外国語教育が実施できるよう取り  
組んでいきます。

また、国の補助を受け、教育情報ネ  
ットワーク」が稼働します。これによ  
り教育センターを拠点に、市内の小・  
中学校の1千台以上のコンピュータ  
が高速インターネットを利用できる  
だけでなく、ブロードバンド化に対  
応したセキュリティの確保や有害情  
報の排除などを持つ双方向通信ネッ



小学校にも英語活動を取り入れ、外国語に親しみます

トワークにより、全世界との通信な  
ど、学習の場において児童・生徒が自  
ら調べ、学ぶための各種情報の提供  
が可能となり、学習意欲の向上に一  
層寄与すると確信しています。

青少年の健全育成では、小・中学生  
や青少年活動者が、共同生活や他県  
の青少年と交流・交歓を行うことは、  
同世代や他世代との交流を深め、協  
調性や連帯意識を高めるとともに郷  
土意識の高揚が図られるなど意義深  
いものがあります。このため、彩の国  
の地域づくりを推進する青少年活動  
のリーダーの養成を目的とした洋上  
研修事業である「彩の国づくり県西  
部地域マリンセミナー」事業を埼玉



関係機関と連携をとり、市民が安心して暮らせるまちを目指します

県要請を受け、本年、本市が事務局を引き受けたところですが、今後も青少年の健全育成には全力で取り組んでいきます。

国際交流では、海外の姉妹都市や友好交流都市との交流を主体に、文化・芸術・スポーツ・教育などの分野で、市民を中心とした交流を積極的に推進します。特にこれからの将来を担う青少年には、海外の文化に触れる機会を提供するとともに、国際社会の一員として不可欠な語学力の向上や国際理解と国際感覚を育む事業に一層力を入れていきます。15年度は、ワシントン市は地域開拓200周年を迎えるため、狭山市代表団による記念式典への参加が予定されるとともに、杭州市では各国からの国際姉妹都市の青少年らによる文化事業を計画しており、狭山市からの参加も要請されるほか、毎年秋に開催される「西湖国際マラソン大会」には、引き続き多くの方に参加していただけるよう力を注いでいきます。また、国内の友好交流都市である新潟県津南町とは、市民と町民主体の親善交流がますます盛んになって、友好交流の理想的な姿に近づきつつあり、子どもから高齢者まで多くの市民が津南町を訪れ、津南の自然に触れる市民交流をさらに推進します。

## 安全で生活しやすいまちをめざして

犯罪のない明るいまちづくりは、市民共通の願いです。そこで、警察と自治会、各種団体の協力をいただき、地域での安全性の確保に積極的に取り組んでいます。より多くの団体と市民の協力をいただき、市全体の取り組みを強化していきます。そのために、地域住民で組織するネットワークづくりの整備と自治会館や集会所の新たな機能と役割りを検討していきます。

情報化・IT推進では、戸籍管理の整備のため、15年度は除籍の磁気化を行い、除籍謄抄本交付までの時間を短縮を図ります。

消防体制の充実では、火災などの災害に迅速、かつ的確に対応できるように、消防機械と施設の改善を画的に進めています。具体的には、高度救命用機器の配備、水槽付消防ポンプ自動車や分団の消防ポンプ自動車の更新、さらには消防団車庫用地取得など、消防力の一層の充実と強化に努め、引き続き消防団をはじめ消防関係機関や自主防災組織・女性消防協力隊などと連携をとりながら、市民が安心して暮らせるまちを目指します。

防災対策では、地域防災の核とな

る自主防災組織の育成と関連資機材の整備・充実などに努めてきましたが、今後も、自らのまちは、自らが守る「防災意識の醸成に努め、自主防災組織の設立およびその活動の充実」に力を入れていきます。

交通安全対策では、交通安全教室の開催や交通安全運動の実施などをおとし、市民の交通安全意識の高揚を図るとともに施設の整備・充実を図ります。

## 計画の推進のために

総合振興計画の体系に沿って平成15年度重点施策などの概要を申し上げます。これらの諸施策を着実に進めるためには、行財政改革や財政健全化を計画的かつ強力に推進することが不可欠です。また、効率的な行財政運営を推進していくために、行政の直接的な担い手である職員一人ひとりの資質の向上と、より高度な政策形成能力や専門性を高めていくだけではなく、ISO9000の調査、研究などを通じ行政サービスの質の向上にも取り組み、緑と健康で豊かな文化都市・狭山市の実現を目指します。